

青山学院大学卒業生教職員 校友「白亜の会」教員採用試験対策講座

2025年度第5回 全体指導（論作文）

2025年6月21日（土）9時～

講師：木村 夏子

「論作文」・・・その前に・・・

筆記試験の突破は**必須**！

- ・一般教養
- ・専門教養

クリアしないと始まらない！

ぬかりなく・・・

本日のプログラム

- 1 講義
※演習の説明
- 2 演習（模擬試験）
○ 70分
手書きに挑戦！

今日のメインは・・・
アウトプット！



1 何のために 「論作文」試験を行うのか

・論作文は「書く面接」

文章を通して
「教師としての適格性」を
判断しようとしている

育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

論作文や
面接試験

筆記試験や
実技試験

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

過去
小学校
中学校
高等学校

現在
大学（学生）

教師になろうと
している

未来
社会人

学んだことを人生や
社会に生かそうとする
学びに向かう力、
人間性など



実際の社会や
生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも
対応できる
思考力、判断力、
表現力など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、
三つの力をバランスよく育みます。

- ・ 論作文は「書く面接」

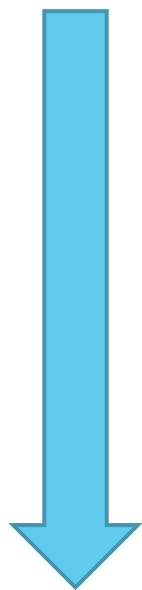
読み手

コミュニケーション

書き手

2 読み手

・読み手 = 出題者・採点者



・書き手 = 出題の意図を汲み
考えが伝わるような文章を書く



いいね！



2 読み手

・読み手 = 出題者

国や各自治体の教育課題、施策

☆学習指導要領

☆教育施策（国レベル・県レベル・地域レベル）

☆受験する地方自治体（教育委員会）のホームページ

☆教育委員会の求める教師像

☆教育に関する報道

☆子供に関わるニュース

☆教員採用試験情報～過去問～

「教師」としての
「見方・考え方」で
とらえ直してみよう

2 読み手

・読み手 = 採点者

＜構成力＞課題の意図を把握し、
題意に則した分析をしているか
論理的な主張になっているか

＜創造力＞創造性、洞察力があるか
誠実さ、向上心等があるか
独断的でなく、社会への適応性をもっているか

＜表現力＞具体的な分かりやすい内容で表現できているか
語句の使い方、表現が適切か
誤字等はないか

まず、「読んでいただける」ように
書くこと！！

最初から最後まで、
読み手が疑問をもつことなく、
すーっと流れるように
読むことができるか。

6月16日 教育新聞より 直前対策—**評価**を上げるには

「論作文」のポイント

☆ **教育時事**の理解をしっかりと

☆ **自分なりの考え**をまとめる

体験をふまえて…

★ 読み手の**心**を動かすには

具体的な体験に基づいた論述…

☆ 一貫した流れが重要

★ **熱い思い**を伝えること

内面的な「**心**」の在り方…

3 書き手

- 書き手 = 学生（教師経験はない）
= 教師経験はないのに
「教師」として書く
= 伝えられるのは・・・
「いまの自分」

3 書き手

・書き手 = 「いまの自分」って？

過去の自分（児童・生徒時のエピソード）

現在の自分（大学での学び・卒論の取組など）

＜教育現場での体験＞教育実習・ボランティアなど

未来に向かう自分（志）

過去
小学校
中学校
高等学校

現在
大学（学生）

教師になろうと
している

未来
社会人

学んだことを人生や
社会に生かそうとする
学びに向かう力、
人間性など



実際の社会や
生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも
対応できる
思考力、判断力、
表現力など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、
三つの力をバランスよく育みます。

3. 伝える「自分」を明らかにしよう

☆理想の教師像「わたしのめざす教師像」

☆教育に関わる自分の体験

(教育実習・ボランティア活動・
生徒としての体験・思い出の学校行事
・部活やサークル活動・忘れられない恩師)

※事例に「見出し」を付けておくと、
どのような問題にもすぐに活用できる。

3. 求められる具体性

しかし、**字数**には**限り**がある

具体性に必要なものは・・・

☆エピソード

☆「なりたい(教師としての)自分」

- ・まず、できるだけ詳しく書いてみる。(5W1H)
- ・**教育現場を思い描いて書く**
- ・全体の字数に合わせて、推敲する。

3. 求められる具体性・・・ どうすれば具体的にになるか・・・

私は、
生徒一人ひとりを大切に
する教師になります！

- ・教育現場を思い描いて書く

例) 毎日一人一人の児童に声を掛ける。

⇒毎日登校する児童を教室で迎え、
一人一人に挨拶+aの声掛けをする。

⇒「実現可能か」を問いながら～

(教育課程、生活時程、学年・学校の組織...)



4. 「論作文」を書くための日頃の準備

- ・論作文になる材料をたくさん蓄えよう。
- ・気づいたら、メモしよう。
- ・短くてよいので、自分なりにまとめてみよう。

※むしろ短いほうがよい

これは、面接試験対策
としても
有効

キーワード

【チェック】☆学習指導要領

☆教育施策（国レベル・県レベル・地域レベル）

☆受験する地方自治体（教育委員会）のホームページ

☆教育委員会の求める教師像

☆教育に関する報道

☆子供に関わるニュース

☆教員採用試験情報～過去問～

☆表記便覧

☆理想の教師像「わたしのめざす教師像」

☆☆☆教育に関わる自分の体験

（教育実習・ボランティア活動など）

※事例に「見出し」を付けておくと、
どのような問題にもすぐに活用できる。

これは、面接試験
対策としても
有効

POINT！（これまでの復習）

論文の構成例～「序論」「本論」「結論」～

「序論」：課題の指摘
（テーマの背景・課題の指摘・課題解決の視点）

✿ 「本論」：具体的な方策 ※字数によって 1～2つ

「結論」：まとめ（全体の総括、教師としての決意など）

POINT !

🌟 「本論」をどのように展開するか。

ここを練習！

①どのような「柱」（方策）を立てるか。

②実現可能な「策」を具体的に展開できれば、
論文全体の説得力が増す

POINT !

🌟 「本論」の方策の中で
論・例・策が展開できるとよい。(字数による)

論：課題解決に向けた自分の考え

例：論をより説得力あるものにするための自分の経験など

策：課題解決のための具体的な実践

ここが大事！

問題例 1：豊かな人間性を育むことを どのように考え取り組むか。

引用：論作文＆面接対策
(時事通信社)

序論：対面的な人間関係の希薄化が進み、いじめや不登校等が深刻化している。教師は相手の立場に立って物事を考えることができる心豊かな児童生徒を育成する指導を充実させる必要がある。以下、_____の2観点から取組を述べる。

方策（１） **思いやりの心を育てる指導**

方策（２） **コミュニケーション能力の向上を
目指す指導**

結論：このほかにも学校行事等を通して、児童生徒相互が個性を認め合う人間関係を育成することも大切である。私は教師として、児童生徒が安心して過ごせる学級・学校づくりを目指し全力で取り組む決意である。

方策（１）：思いやりの心を育てる指導

論：思いやりの心はたくさんの触れ合いを通して相手を理解しようとする心から生まれる。それには相手の立場に立って物事を考える習慣を身に付けさせることが必要である。

例：ボランティア先の学校に、日常的にからかわれている児童生徒がいた。担任は、自分がからかわれたらどんな気持ちになるかを考えさせ、粘り強く指導していた。その結果、相手の気持ちを考えて行動する姿が見られるようになった。

策：この経験を生かし、道徳科の授業で様々な教材を工夫し、互いの気持ちを考える場を設定し、思いやりの心を育てていく。また、授業でいじめについて少人数グループで交流させながら話し合わせ、個々のよさを認め合うことの大切さを考えさせていく。

問題例 2 : GIGAスクール構想を踏まえて、
ICT活用にどのように取り組むか。

引用：合格する論作文
(時事通信社)

序論：～1人1台という端末環境は、新たな時代のスタンダードである。私は、_____という2つの視点から、ICTの活用に取り組む。

方策（1）情報活用能力の育成

方策（2）個別最適化された学びの実現

結論：ICTは日々変化を遂げるが、教育を実践するのは教師である私自身である。ICT教育の推進に当たっても、子どもたちに寄り添い、分かる授業を行うという教師の本分を最優先に実践していく。

問題例：GIGAスクール構想を踏まえて、
ICT活用にどのように取り組むか。

引用：合格する論作文
(時事通信社)

方策（１）情報活用能力の育成

論：課題解決に向けた自分の考え

高度な情報社会を生きるためには、情報活用能力が求められる。

例：論をより説得力あるものにするための自分の経験など

（コロナ禍におけるオンライン授業では子供の満足度は想像以上に高かった。）

策：課題解決のための具体的な実践

ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実践

（デジタル発表資料の作成・発表）

問題例：GIGAスクール構想を踏まえて、
ICT活用にどのように取り組むか。

引用：合格する論作文
(時事通信社)

方策（１）情報活用能力の育成

論：高度な情報社会を生きるためには、コンピュータなどで情報を得たり、整理・比較したり、得た情報を分かりやすく発信・共有したりする情報活用能力が求められる。

策：私は、ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実践をすることで情報活用能力を育成する。例えば国語では、グループで1つの和歌を選び、その情景や作者について調べ、和歌の意味を解釈させ、デジタル発表資料を作成して発表させる。子どもたちが主体となり情報をまとめることで、国語の知識を得るだけでなく、情報活用能力も得られるような授業を展開する。

高度な情報社会を生き抜く子どもの育成

GIGAスクール構想～ICT活用～

情報活用能力の育成

策：ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実践

策：国語の知識を得るだけでなく、情報活用能力も得られるような授業

策：例えば国語では、グループで1つの和歌を選び、その情景や作者について調べ、和歌の意味を解釈させ、デジタル発表資料を作成して発表

例：コロナ禍におけるオンライン授業では子供の満足度は想像以上に高かった。<<経験>>



問題例：学習意欲を向上させるために
どのように取り組むか。

引用：論作文＆面接対策
(時事通信社)

序論：～学習意欲は学力を構成する3要素の1つであり、その向上には学習への興味・関心を引き出す指導が重要であると考える。そのため、私は～

方策（１）興味・関心を高める指導

方策（２）主体的な学習を促す指導

結論：以上、学習意欲の向上について2観点から述べたが、児童生徒の実態を踏まえた授業の展開や学ぶ意欲を育むための働きかけを意図的・計画的に行うことも大切である。私は教師として、魅力ある授業を日々実践できるように自らの授業力を高める努力をしていく決意である。

問題例：学習意欲を向上させるために
どのように取り組むか。

引用：論作文＆面接対策
(時事通信社)

方策（１）興味・関心を高める指導

論：課題解決に向けた自分の考え

授業が分かる喜びは学習意欲の向上を密接な関係がある。
～工夫のある魅力的な授業を行うことが重要である。

例：論をより説得力あるものにするための自分の経験など

小５の算数の授業で～升からあふれるジュースを見て、どれだけこぼれたのか調べたくなった経験がある。

策：課題解決のための具体的な実践

この経験を生かして私は、具体物を使った体験や視覚から捉えさせる授業を行い、児童生徒に興味や関心を高める授業を行っていく。

学力の向上

学習意欲の向上

策：工夫のある魅力的な授業

策：児童生徒の興味や関心を高める授業

策：具体物を使った体験や視覚から捉えさせる授業を行う。

例：＜5年算数＞升からあふれるジュースを見て
どれだけこぼれたのか調べたくなった。＜＜**経験**＞＞

授業がわかる
喜び



「論作文」のポイント

☆教育時事の理解をしっかりと

- 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）
令和3年1月26日 中央教育審議会
- 初等中等教育における教育課程の基準等の
在り方について
令和6年12月25日 中央教育審議会諮問

「論作文」のポイント

☆教育時事の理解をしっかりと

□我が国の「知の総和」向上の未来像
～高等教育システムの再構築～（答申）

令和7年2月21日 中央教育審議会

□給特法等改正法の成立に当たり、国民の皆様へ

文部科学大臣メッセージ

令和7年6月11日



10秒でできる
Webアンケートはこちら

一人一人の子供を主語にする学校教育の実現 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～



この特集全体の
詳しい内容はこちら

これからの学校は、これまでの実践とICTとを最適に組み合わせ、教育の質の向上につなげることが必要とされています。本特集では、全ての子供たちの可能性を引き出し、一人一人の子供を主語にする学校教育の実現に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、一人一人の子供を主語にする学びの姿を紹介します。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

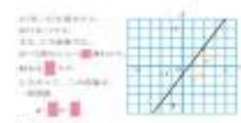
一人一人の子供を主語にする学びの姿(例)

中学校 第2学年 数学「一次関数」

指導の個別化

○導入

・前時の学習内容の理解度に応じて、課題を選択(AIDリル、ノート、デジタル教科書を使用した個別学習等)し、問題を解く。



協働的な学び

○展開

・本時の課題に対して、グループでファイル共有機能を用いて、表、式、グラフによる自身の解法と友達との解法の共通点や相違点に着目して、特徴について考察する。
・グループ内で議論した後、別グループの他の解法について共有する。
・ファイル共有機能を用いて、学級全体に向けて整理した自身の考えを発表する。



学習の個性化

○まとめ

・本時の学習内容の理解度に応じて、自身の学習の進め方を選択する。
①類題を選択し、問題を解く。
②検索機能を用いて、興味・関心等に応じた事象から学習課題を設定し課題に取り組む。

教師の指導

- 一定の目標の達成を目指し、支援が必要な子供への重点的な指導
- 個々の特性や学習状況等に応じた指導方法・教材等の提供・設定



ICTの活用

- 確実な資質・能力の育成につなげる活動に活用
- 学習状況の把握・分析
- 子供が多様な方法で学ぶことができるような指導方法等の工夫



- 子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供



- 興味・関心等に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げる活動に活用

- 子供一人一人に対する実態に応じた目標設定の把握



- 集団の中での個人に着目した指導
- 子供同士の学び合い
- 多様な他者とともに問題の発見や解決に挑む授業展開



- 共同で作成・編集等を行う活動、多様な意見を共有しつつ、合意形成を図る活動、他の学校・地域や海外との交流等に活用

- 子供同士が学び合える活動を設定



協働的な学び

個別最適な学び

Q 「個別最適な学び」とは、どのような概念ですか。

A 「指導の個別化」と「学習の個性化」を学習者視点から整理した概念が「個別最適な学び」です。

Q 「協働的な学び」では、どのような資質・能力を育成しますか。

A 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることのできるような資質・能力を育成することです。

Q 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実とはどのようなことですか。

A 授業の中で「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元することなどです。

全ての子供たちの可能性を引き出し、一人一人の子供を主語にする学校教育の実現

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

社会背景

【急激に変化する時代】

- 社会の在り方が劇的に変わる「**Society5.0時代**」
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など先行き不透明な「**予測困難な時代**」
- 社会全体の **デジタル化・オンライン化、DX加速の必要性**

子供たちに育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

【ポイント】

- ✓ これらの資質・能力を育むためには、**新学習指導要領の着実な実施** が重要
- ✓ これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、**ICTの活用** が必要不可欠

2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

「日本型学校教育」とは？

子供たちの知・徳・体を一体で育む学校教育

- 学習機会と学力の保障
- 全人的な発達・成長の保障
- 身体的・精神的な健康の保障

【新しい動き】



新学習指導要領の着実な実施



学校における働き方改革

GIGAスクール構想

【成果】

国際的にトップクラスの学力

学力の地域差の縮小

規範意識・道徳心の高さ

【今日の学校教育が直面している課題】

子供たちの多様化

生徒の学習意欲の低下

教師の長時間労働

情報化への対応の遅れ

少子化・人口減少の影響

感染症への対応

「**正解主義**」や「**同調圧力**」への
偏りからの脱却



一人一人の子供を主語にする
学校教育の実現

「**日本型学校教育**」の良さを受け継ぎ、更に発展させる／
新しい時代の学校教育の実現

3.2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

2020年代を通じて実現を目指す学校教育

「令和の日本型学校教育」の姿

＼全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現／



子供の学び

- ✓「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている
- ✓各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている

#個別最適な学び #協働的な学び
#主体的・対話的で深い学び #ICTの活用



教職員の姿

- ✓環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている
- ✓子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている
- ✓子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている

#教師の資質・能力の向上 #多様な人材の確保 #家庭や地域社会との連携
#学校における働き方改革 #教職の魅力発信 #教職志望者の増加



子供の学びや 教職員を支える環境

- ✓ICT環境の整備により全国の学校で指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている
- ✓新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている
- ✓人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている

#ICT環境の整備 #学校施設の整備
#少人数によるきめ細かな指導体制

「令和の日本型学校教育」における「子供の学び」の姿について

「子供の学び」の姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



個別最適な学び
協働的な学び

一体的に充実



主体的・対話的で
深い学び

授業外の学習改善

授業改善

「子供の資質・能力の育成」

個別最適な学び【学習者視点】（＝個に応じた指導【教師視点】）

「子供が自己調整しながら学習を進めていく」

指導の個別化

- ✓ 子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、
- ✓ 教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う



→ 一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、
異なる方法等で学習を進める

学習の個性化

- ✓ 子供一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、
- ✓ 教師は一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う



→ 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる

協働的な学び

- ✓ 子供一人一人のよい点や可能性を生かし、
- ✓ 子供同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する



→ 異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す

各学校段階において目指す学びの姿

幼児教育

- 小学校との円滑な接続、質の評価を通じたPDCAサイクルの構築等による、質の高い教育が提供されている
- 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で達成感を味わいながら、全ての幼児が健やかに育つことができる

義務教育

- 基礎的・基本的な知識・技能や学習の基盤となる資質・能力等の確実な育成が行われるとともに、多様な一人一人の興味・関心等に応じた学びが提供されている
- 児童生徒同士の学び合いや探究的な学びなどを通じ、地域の構成員や主権者としての意識が育まれている
- 全ての児童生徒が安全・安心に学ぶことができる

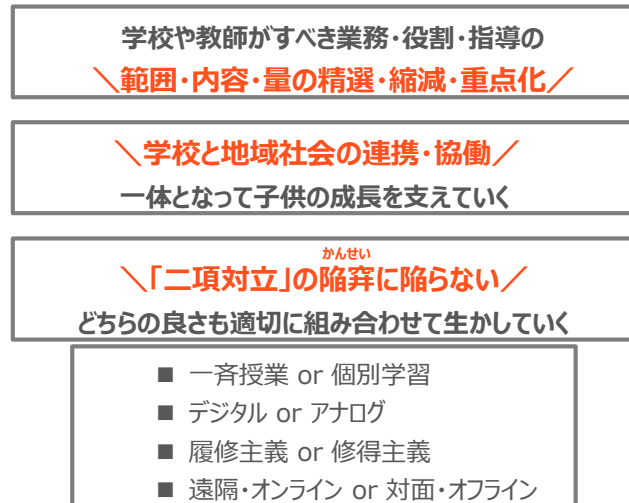
高等学校教育

- 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力や、社会の形成に主体的に参画するための資質・能力が育まれている
- 多様な関係機関との連携・協働による地域・社会の課題解決に向けた学びが行われている
- 探究的な学びやSTEAM教育など教科等横断的な学びが提供されている

特別支援教育

- 全ての教育段階において、インクルーシブ教育システムの理念を構築することを旨として行われ、全ての子供たちが適切な教育を受けられる環境整備
- 障害のある子供とない子供が可能な限りともに教育を受けられる条件整備
- 障害のある子供の自立と社会参加を見据え、連続性のある多様な学びの場の充実・整備

4.「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性



全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けて

改革に向けた6つの方向性

- (1) 学校教育の質と多様性、包摂性を高め、**教育の機会均等**を実現する
- (2) 連携・分担による**学校マネジメント**を実現する
- (3) **これまでの実践とICTとの最適な組合せ**を実現する
- (4) **履修主義・修得主義等**を適切に組み合わせる
- (5) 感染症や災害の発生等を乗り越えて**学びを保障する**
- (6) 社会構造の変化の中で、**持続的で魅力ある学校教育**を実現する

5.「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方

【基本的な考え方】

- ✓ **学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なもの**
- ✓ **これまでの実践とICTとを最適に組み合わせていく**

＼**Society5.0時代にふさわしい学校の実現**／

- ▶ 学校教育の様々な課題を解決し、教育の質向上につなげる
- ▶ PDCAサイクルを意識し、効果検証・分析を適切に行う
- ▶ ICTを活用すること自体が目的化してしまわないよう留意

(1) 学校教育の質の向上に向けたICTの活用

- ICTを**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**に生かすとともに、**今までできなかった学習活動の実施**や**家庭など学校外での学びを充実**する
- 特別な支援が必要な児童生徒への**きめ細かな支援**や、個々の才能を伸ばす**高度な学びの機会の提供**など、児童生徒一人一人に寄り添った指導を行う

#端末の日常的な活用 #ICTは「文房具」
#ICTの活用と少人数学級を両輪としたきめ細かな指導

(2) ICTの活用に向けた教師の資質・能力の向上

- 教員養成・研修全体を通じ、**教師が必要な資質・能力**を身に付けられる環境を実現する
- 教員養成大学・学部は**新たな時代に対応した教員養成モデルの構築**や、**不断の授業改善に取り組む教師のネットワークの中核**としての役割を果たす

#ICT活用指導力の養成 #データリテラシーの向上
#指導ノウハウの収集・分析

(3) ICT環境整備の在り方

- GIGAスクール構想により配備される端末は、**クラウドにアクセスし、各種サービスを活用**することを前提
- 各学校段階（小・中・高）における**1人1台端末環境の実現**と、**端末の家庭への持ち帰り**が望まれる

#デジタル教科書・教材の普及促進
#教育データの利活用 #ICT人材の確保
#校務効率化

諮問のポイント：詳細版

初等中等教育における 教育課程の基準等の 在り方について

(令和6年12月25日中央教育審議会諮問)

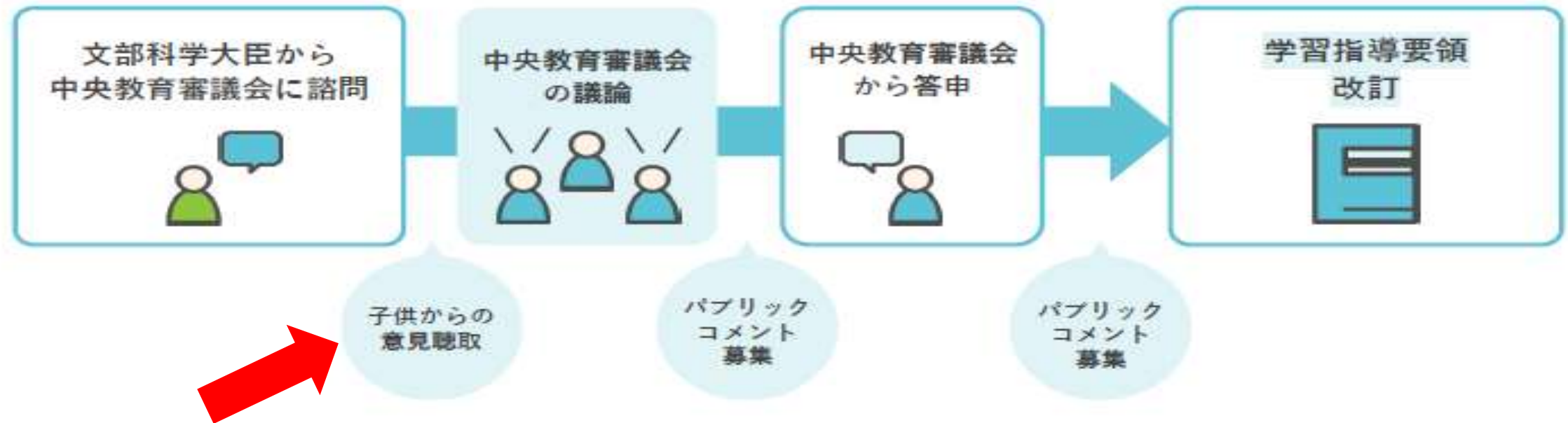


学習指導要領の改訂へ向けた議論が開始

令和6(2024)年12月25日の中央教育審議会諮問を受け、学習指導要領の改訂に向けた議論が始まりました。

改訂は約10年ごとに実施され、中央教育審議会での有識者等による議論や、パブリックコメントで一般の方からの意見募集を経て行われます。

学習指導要領改訂の大まかな流れ



子供たちを取り巻くこれからの社会

少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成AI等デジタル技術の発展等、社会や経済の先行きに対する不確実性がこれまでになく高まっており、子供たちは激しい変化が止まることのない時代を生きることになる。

少子化・高齢化



デジタル技術の発展等



マルチステージの人生

これまで



これから



グローバル化



テクノロジーの変化によるチャンス



子供たちにとって重要なこと

自らの人生を舵取りする力を身につけること



持続可能な社会の創り手となること

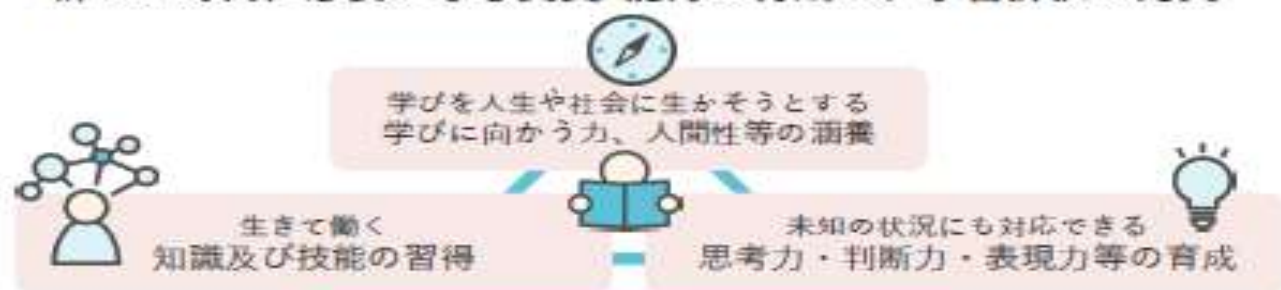


豊かな可能性を開花できること



現行の学習指導要領が目指していること

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実



何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な知識や力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・
科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語
教育の教科化



高校の新科目
「公共」の新設



各教科等で育む資質・能力を明確
化し、目標や内容を構造的に示す



どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニン
グ」）の視点からの学習過程の改善



新しい時代に求められる資質・能力の育成を図るための
学習過程の質的改善

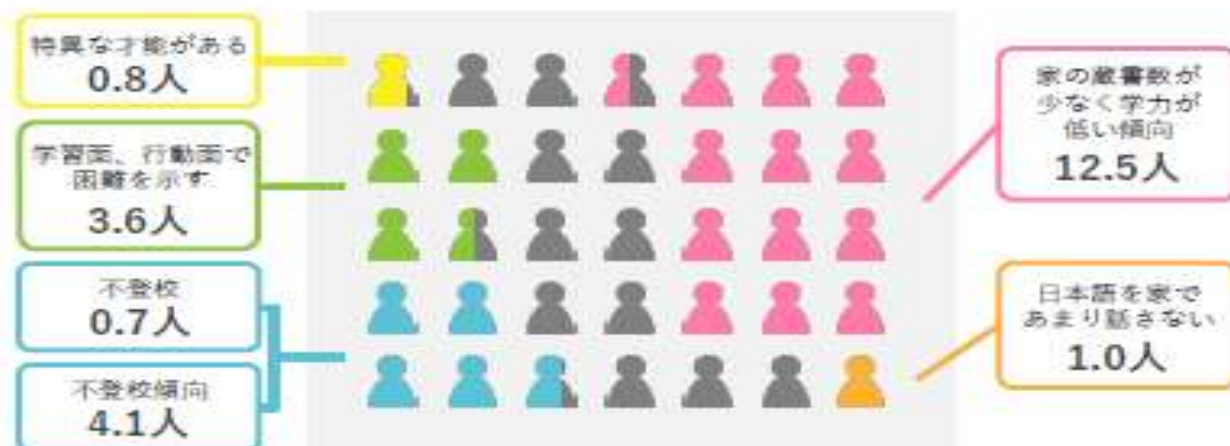
子供一人ひとりに目を向けた時に見えてきた課題

多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の必要性

「正解主義」や「同調圧力」への偏りから脱却するとともに、民主的かつ公正な社会の基盤として学校を機能させ、分断や格差の拡大を防ぎ、共生社会を実現する観点からも重要

-小学校35人学級における子供の多様性*-

*各種調査に基づく山形県から算出



学習指導要領の 理念や趣旨の浸透が道半ば

子供の社会参画
の意識



深い理解を伴う
知識の習得



知識と現実の事象
を関連付けて理解



自律的に学ぶ
自信



将来の夢を持つ
子供の割合

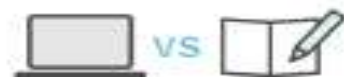


「自分の考え」
を書くこと



デジタルを活用した効果的な学びについて

「デジタルか紙か」
といった二項対立



効果的な活用は
まだまだこれから



デジタル競争力は
国際比較でも低位



バランス感覚を持って、
積極的に活用する



一人一人の良さを
伸ばし、困難の
克服を助ける



デジタルの力で
リアルな学びを支える



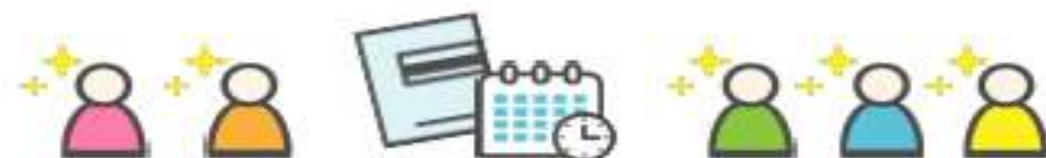
2 多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方

子供による学びの自己調整と 教師の指導性の在り方



子供が自分自身で学びを調整し、教材や学習方法を選択できる学習環境デザインの重要性、新たな時代にふさわしい学びや教師の指導性の在り方をどう考えるか

子供たちが輝く柔軟な教育課程編成の促進の在り方



教師に「余白」を生み、教育の質の向上に資する可能性も含め、子供一人一人の可能性が輝く柔軟な教育課程編成を進めるために、各種特例校制度を活用しやすくすること、標準授業時数に係る柔軟性、学習内容の学年区分に係る弾力性、単位授業時間や年間の最低授業週数の示し方についてどう考えるか

高等学校の諸制度の改善の在り方



高等学校の生徒の多様性に応える柔軟な教育課程を実現するための全日制・定時制・通信制を含めた諸制度をどう改善したらよいか

一つの教育課程では対応が難しい 子供を包摂する在り方



不登校児童生徒や特定分野に才能のある児童生徒など、一つの教育課程では対応が難しい子供を包摂する仕組みを作るために、教育課程上の特例等をどう考えるか

3 各教科等やその目標・内容の在り方

情報活用能力の抜本的向上を図る方策



小中高等学校を通じて、生成AI等に関わる教育内容の充実、情報モラルやメディアリテラシーの育成強化など情報活用能力を抜本的に向上させるための方法はあるか

質の高い探究的な学びの在り方



質の高い探究的な学びを実現するために、「総合的な学習の時間」や「総合的な探究の時間」について、情報活用能力の育成との一体的な充実等を含めどう改善したらよいか

文理横断・文理融合の観点からの改善の在り方



高等教育段階でデジタル・理数分野の改革が進む中、初等中等教育段階での文理横断・文理融合の視点からどう改善したらよいか

生成AIの活用を含む今後の外国語教育の在り方



生成AIの発達により、質の高い翻訳が可能となる中で、生成AIの活用を含めた外国語教育の在り方や、学ぶ意義についてどう考えるか

主体的に社会参画するための教育の改善の在り方



教育基本法や学校教育法等に加え、こども基本法の趣旨を踏まえ、子供が主体的に社会参画するための教育の改善をどう考えるか

高等学校教育の今後の在り方



多くの教科・科目の構成の改善が行われた高等学校教育について、その一層の定着を図るとともに、職業教育を含めた今後の改善をどう考えるか

質の高い特別支援教育の在り方



特別支援学級や通級指導といった特別の教育課程、自立活動の充実等を含む、障害のある子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育の在り方をどう考えるか

幼児教育と小学校教育との円滑な接続の改善の在り方



幼児教育と小学校教育を円滑に接続するための改善、設置者や施設類型を問わず幼児教育の質を向上させるための共通の方策は何か

文部科学大臣メッセージ

～給特法等改正法の成立に当たり、国民の皆様へ～

本日、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律、いわゆる「給特法」等の改正法が成立いたしました。関係する皆様のこれまでのご支援に感謝申し上げます。

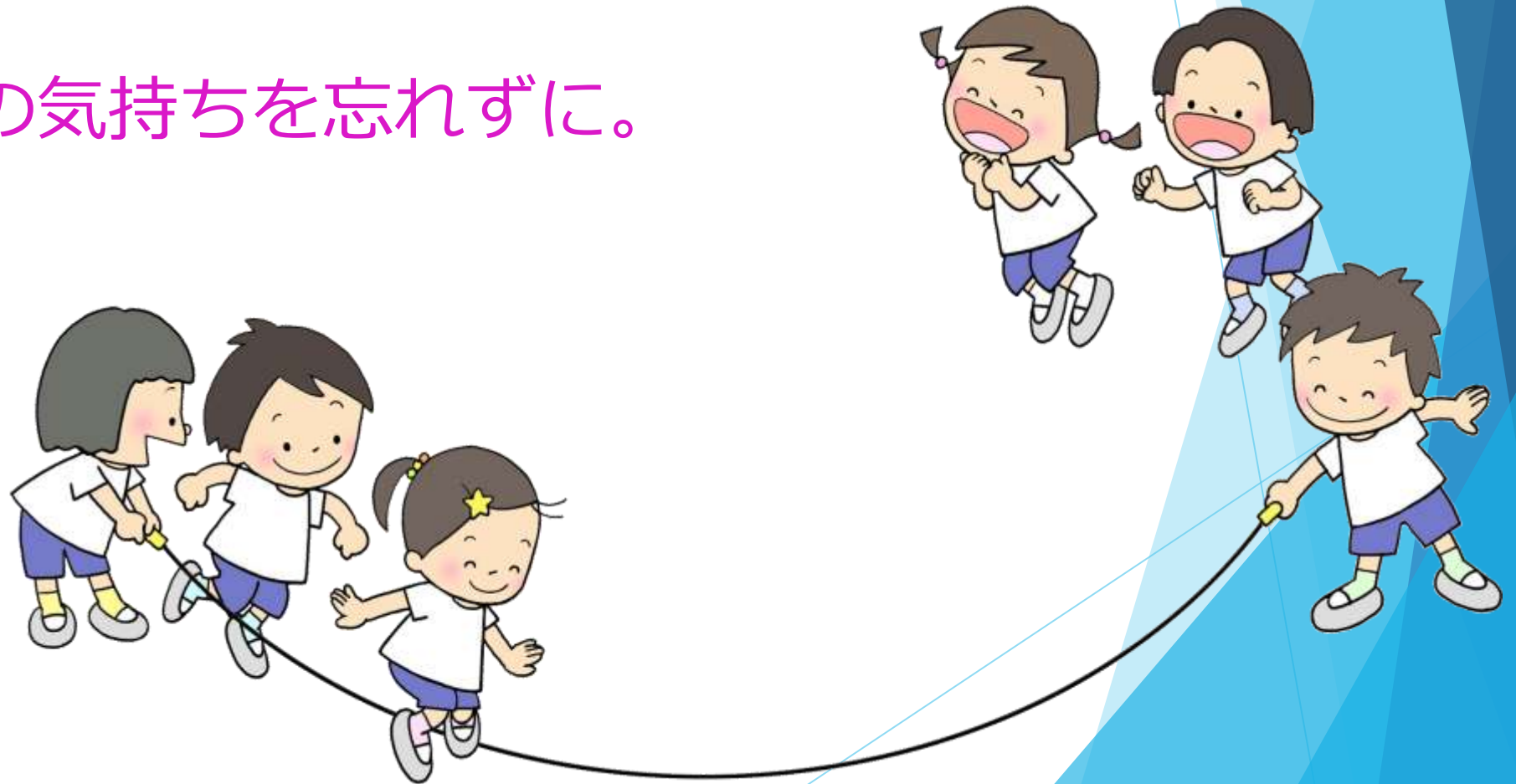
これまで、我が国の学校教育が世界的にも高い成果をあげてきたのは、子供たちのために日々尽力されている教師の皆様の献身的な努力と、地域や保護者の皆様をはじめ、子供たちを支えるすべての皆様のご理解とご協力の賜物であり、心から感謝と敬意を表します。

近年、学校・教師が担う業務が増加し、依然として長時間勤務の課題があります。文部科学省としても、現在の状況を改善しなければ、教師の担い手が失われ、教育の質の低下を招きかねないと強い危機感を抱いています。

「教育は人なり」と言われます。教育の要である教師の皆様が日々生き活きと子供たちに向き合い、その意欲と専門性を最大限に発揮できるよう、改革を加速して進める必要があります。

添削講師の中には、
現職の先生方もいらっしゃいます。
ご多用の中添削指導をさせていただきます。

・・・感謝の気持ちを忘れずに。



7 / 6 試験の復元をお願い

「論作文」試験

- ・ 出題
- ・ 回答

(ポイントの
箇条書きでもよい)

次年度以降の指導に
役立てます。

皆さんの後続く
後輩たちのために
力を貸してください！



演習問題

各学校では、すべての児童・生徒が自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていく力を育む教育が求められています。

そのことについて、あなたの考えを述べた上で、その考えに立ち、教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に則して述べなさい。

字数は、受験する自治体の文字数に合わせること。

(原稿用紙:30字×40行)

- ・時間は70分間(提出後は退室可)
- ・提出の際、各自持参した返信用封筒をクリップで止めて出すこと。
※返信用封筒を用意していない場合は、申し出ること。
- ・提出した論文は、事務局よりまとめて添削講師に送付。
- ・コピーが必要な場合は、各自写真等で記録すること。